

【集団健診】

乳がん検診車（ほほえみ7号）の更新

1台の検診車に2台のX線撮影装置を搭載した、マンモグラフィ検診車を導入しました。

従来の装置では、照射スイッチを離れたタイミングで圧迫板が退避する仕様となっておりますが、今回導入した装置ではX線照射が終了したタイミングで圧迫板が自動で退避するようになりました。以前より短い圧迫時間で検査を受けていただけるようになりました。



胃部検診車（あすなろ7号）の更新

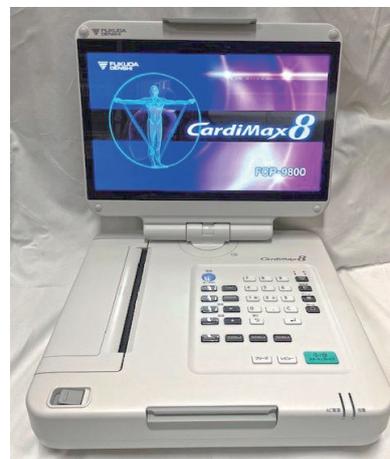
マンモグラフィ検診車と同様に、ダブル車となる胃部検診車を導入しました。胃X線撮影装置には富士フィルムメディカル社製のFPD（フラットパネルディテクタ）を搭載しました。FPD搭載のダブル車は当施設で初めてとなります。従来のI.I.D.R.に比べ画質が向上し、放射線量を低く抑えて撮影できます。



解析付心電計の更新

精度の維持と向上を目的として、心電図検査装置をフクダ電子株式会社の『FCP-9800』に更新しました。

FCP-9800は最新心電図解析プログラムを搭載しており、リスクが高く判読が困難とされる心疾患の診断をサポートする機能を有しています。また、15.6インチのワイドディスプレイでフルHDという高解像度なスペックも加わりました。これまでにない高精細な心電図波形を描出できるようになり、作業効率の向上と精度の高い検査を実施することができます。



腸内細菌検査（検便検査）の移転

令和6年4月から、腸内細菌検査（検便検査）部門が宇都宮市下岡本町にあります当事業団の「食品環境検査所」に移転しました。

栃木県保健環境センター北棟2階にあり、食品検査やノロウイルス検査などと同じ窓口で受付ができるようになりました。



個人結果書の表記の変更

セクシュアル・ジェンダーの多様性に併せて、令和6年度より個人結果書の一部修正を行いました。変更点は次の通りです。

- ① 「性別 男性・女性」の表記ではなく、これまでの個人結果書の性別欄と同位置に、男性は「1」女性は「2」のコードのみを印字します。
- ② 男女で異なる基準値の検査項目【腹囲、貧血（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値）】については、男女両方の基準値を印字します。

《結果書（住民健診）サンプル》

健診結果のお知らせ
令和6年4月1日の健康診査結果についてお知らせいたします。

市町名 ○○○市
担当課 ○○○課
TEL 000-0000-0000

生年月日 昭和00年00月00日生（00歳） 性別 女性 2
電算入力コード TEL 000-000-0000
保険証記号 000000000 保険証番号 000000000
保険者番号 000000000 受診券番号 000000000
年齢計算日 令和7年3月31日

健康診査判定		
検査項目		基準値
身体計測	身長	
	体重（標準体重）	
	腹囲	男 ~84.9 女 ~89.9
	BMI	~24.9
	血圧	~129/~84

【人間ドック】

上部消化管内視鏡装置の更新

令和7年1月に、内視鏡画像診断支援システム『CADEYE（キャドアイ）』（富士フイルムメディカル社製）を導入しました。“CADEYE”は従来型の内視鏡検査とは異なり、AIを使った画像認識機能によって、優れた精度で病変部を検出することができます。対象エリアを枠で囲って表示し、検出音で医師に注意を促します。これにより従来の内視鏡検査と比べ、より病変を見逃しにくい検査が可能となりました。内視鏡専門医師の技術と臨床知見にAI診断がプラスされ、早期がんの発見に期待が高まります。



【普及啓発】

栃木県庁昭和館 赤ライトアップの実施

令和6年9月24日から30日までの「結核・呼吸器感染症予防週間」に合わせ、県感染症対策課との共催で栃木県庁昭和館を赤色にライトアップしました。このライトアップは、結核予防の普及啓発のため、結核予防会本部の呼び掛けにより今年度から開始したもので、赤色は、世界共通の結核予防のシンボルマーク・複十字の色を表しています。ライトアップの様子は様々なメディアで取り上げられ、結核の予防と早期発見の重要性について広く啓発することができました。



デジタルサイネージの活用

令和6年9月から11月までの3ヶ月間、JR宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージにて3種類の健康に関する啓発動画を掲出しました。(9月：がん征圧月間、10月：乳がん月間、11月：栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間)

LRT開業に合わせ、令和5年8月に設置されたデジタルサイネージは、広告の他にLRTやバスの時刻表、周辺の観光情報やニュースなど様々な情報を調べることができる媒体です。掲出した場所は、LRT停留場や新しい商業施設などが近いことから人通りが多い所です。これからも様々な広報媒体を活用しながら、幅広い世代へ健康に関する啓発活動を展開していきます。



「インナービジョン」への掲載

当事業団では、肺がんなどの早期発見や発見率の向上を目指し、令和4年10月より県内の健診機関に先駆けて、胸部X線の画像診断にAI画像解析ソフト（エルピクセル株式会社 医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest Screening）を使用した運用を実施しています。

今回そのAIソフトウェアの使用経験に関する当事業団の報告が、令和7年2月25日発行の医療雑誌『インナービジョン』に掲載されました。

(タイトル：健診機関における画像診断支援AIソフトウェアの導入と運用)

CRT 栃木放送への出演

令和6年9月20日、CRT栃木放送スタジオにて『ど～も、嶋均三です』にゲスト出演いたしました。番組内では、「結核・呼吸器感染症予防週間（9月24日～9月30日）」について取り上げていただき、結核予防会栃木県支部として、「結核」に関する現状や予防についてお話ししました。

番組内では、パーソナリティの嶋均三さんから結核の予防について質問いただくなど、関心を持って聴いてくださいました。また、福嶋真理子アナウンサーには、「今回のお話を、家族や友達などと会話して、正しい情報を広めていただければ嬉しいです」と呼び掛けていただきました。



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ」への参加

令和6年9月14日(土)～15日(日)に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ」が壬生町総合公園陸上競技場(わんぱく公園内)にて開催されました。

「リレー・フォー・ライフ」はがんサバイバーやその家族を支援し、地域全体でがん征圧を目指すチャリティー活動です。

当事業団も実行委員として運営に携わる他、当日は54名の職員が参加し、リレーウォークを通じてがん患者とその家族の支援に向けて想いをつなげました。

